消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】

| 1. 事故・ヒヤリハットの別 | ヒヤリ |
|-----------------|---|
| 2. 体験した事例の名称 | 車両積載の吸管(消火栓用媒介金具部)収納操作時の事例 |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 吸管収納時、吸管止め金具が止めてない状態で不用意に吸管の位置調整 を行い吸管の消火栓用媒介金具部が頭部に落下 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 取っ手等の艤装も含めた正に危険予知能力の不足。 |

【体験した事例の直接的原因について】

| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の実行に問題があった。 |
|------------------|---------------|
| | |

【体験した事例について】

| 1. 発生日時 | 平成 20 年 4 月 1 日 |
|-------------------|-----------------------|
| · - · | 1.00 |
| 2. 発生した当時の天候 | 晴 |
| | |
| 3. 発生した活動現場 | 屋外:庁内車庫前で吸管収納時に |
| | |
| 4. 体験した事例の種類 | 回答者が、自分自身で負傷した。 |
| | |
| 5. 事故の程度(ヒヤリハットの場 | 軽傷の怪我をしていた(させていた)だろう。 |
| 合、仮に負傷したときの程度) | |
| 6. どのようなことが起きたのか | 飛来・落下ぶつにぶつかる |
| (起きそうになったのか) | |
| 7. 事例体験時の活動 | その他: [] |
| | |
| 8. (7の活動中) | その他:放水テストで吸管を収納時に |
| どのような作業中に発生したか | |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの | 1年に数度程度の割合で体験している。 |
| 程度の頻度で体験していますか。 | |

10. 事例体験者の属性(回答者は当事者A)

| 〇当事者 A | 年齢[52]歳、 勤続年数[34]年、 現場経験年数[34]年、 階級[消防司令]、 |
|---------------|--|
| | 同様の活動[1年に数度]、任務[車長] |
| 〇当事者B | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、 |
| | 同様の活動[]、任務[] |
| 〇当事者C | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、 |
| | 同様の活動[]、任務[] |
| その他 | |
| (当事者が4人以上の場合) | |

11. 事例発生の経過。

| | 誰(何)が | なにをした | その他・備考など |
|-------|-------|-------------------|----------|
| 経過 1 | 当事者A | 車両吸管を収納時に吸管金具部が落下 | |
| 経過2 | | | |
| 経過3 | | | |
| 経過4 | | | |
| 経過5 | | | |
| 経過6 | | | |
| 経過7 | | | |
| 経過8 | | | |
| 経過9 | | | |
| 経過 10 | | | |

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合:事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか?

個人装備が適切だった。

〇心理・体調について

a. あせりを感じていた

| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという"あせり"を感じていた。 | はい |
|---------------------------------------|-----|
| ・被害拡大が消防活動を上回っており"あせり"を感じていた。 | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより"あせり"を感じていた。 | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 | はい |
|---------------------------------|-----|
| ・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | はい |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 | いいえ |
|---|-----|
| 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい |
| ・活動に対する経験が不足していた。 | はい |

d. 心身の不調があった

| ・体調が悪かった。 | いいえ | |
|-----------|-----|--|
| ・悩み事があった。 | いいえ | |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

| ・装備・資機材自体に問題があった。 | はい |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | はい |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。 | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

| ・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。 | |
|---------------------------------|-----|
| ・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

| ・狭隘な場所であった。 | いいえ |
|---------------------------------|-----|
| ・暑かった (寒かった)。 | いいえ |
| ・野次馬が多かった。 | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

| V= 2 12 | | |
|------------------|-----|--|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ | |
| ・足元の強度が不足していた。 | いいえ | |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

| ・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。) | かった。(無線が通じない等。) はい | |
|-------------------------------------|--------------------|--|
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。 | | |
| ・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。) | はい | |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい |
|----------------|-----|
| ・隊員が不足していた。 | いいえ |

○その他

I. その他の理由があった。

いいえ

| 【事故発生後の取り組みについて】 | • |
|-------------------|---|
| ○注意力欠如、焦り等の対策について | |
| ○装備・資機材の対策について | |
| ○活動環境の対策について | |
| 〇指揮・情報伝達の対策について | |

【状况図】

